

第3期さっぽろ未来創生プラン策定に伴う社会動態に関する意識調査報告書（概要版）

調査概要

(1) 札幌市内大学卒業予定者への就職に対する意識調査

概要：市内卒業見込みの大学生へ向け、UJターンに関する意識調査を実施
対象：卒業見込みの市内大学生（及び短期大学生）
サンプル数：507サンプル

(2) 道内出身首都圏在住の専修・専門学校、短大・高専、大学卒業予定者及び社会人への就職・転職に関する意識調査

概要：道内出身者で現在首都圏に住む39歳までの若年層へ向け、UJターンに関する意識調査を実施
対象：道内出身者で現在首都圏に住む39歳までの若年層
サンプル数：500サンプル

(3) UJターン就職者へのグループインタビュー

概要：UJターンによりさっぽろ圏企業へ就職を行った社会人に対し、就職・転職活動における実態についてグループインタビューを実施。
対象：UJターンでさっぽろ圏の企業へ就職している15～39歳の社会人
参加人数：16名

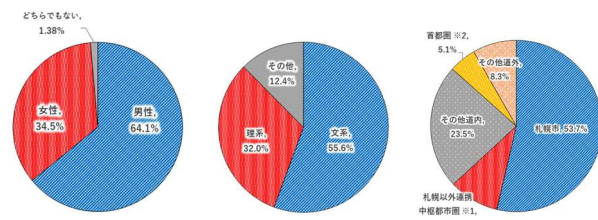
(4) 先進的な取組事例 (5) 全体のとりまとめ

●参考資料

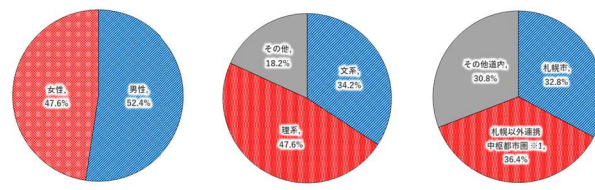
就職みらい研究所『大学生の地域間移動に関するレポート2022』
キャリアリサーチLab『2024年卒大学生就職意識調査』
札幌市『札幌で活躍したい若者の希望がかなう まちづくりに係る調査・分析業務報告書』 他（各図へ出典記載）



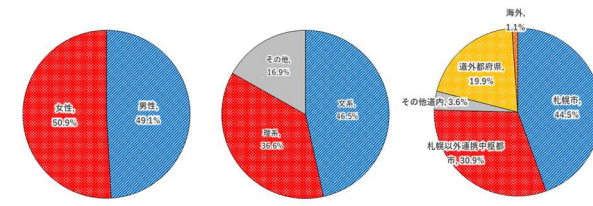
■市内の若年層調査の回答属性



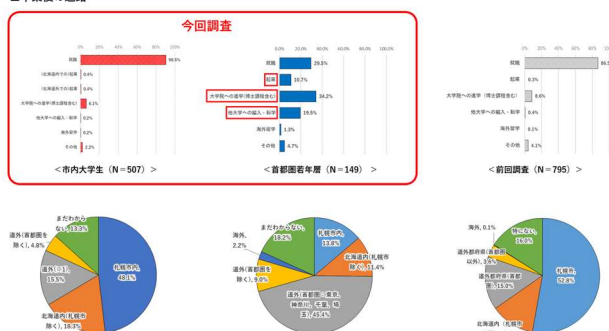
■首都圏の若年層調査の回答属性



■前回調査（H30）の回答属性



■卒業後の進路



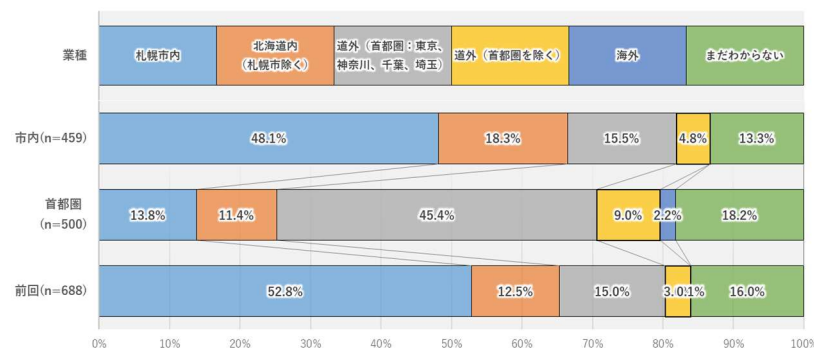
●市内大学生と首都圏若年層では卒業後の進路に大きな差異

前回と今回の市内大学生は7割近くが道内就職を希望。しかし、首都圏在住の若年層になると希望が約25%となってしまう、約50%がそのまま首都圏に留まることを選択している。

	市内大学生	首都圏若年層
就職・転職	68.3%	25.0%
進学	22.2%	50.0%
その他	1.38%	25.0%

左のグラフは、出身地域と就職地域の関係を示したグラフだが、北海道出身者で道外へ就職する割合は全体の11.3%となり、首都圏において地域以外出身者の地域内就職割合は全体の19.3%であることから就職へ移行する層が少ないことが伺える。

■卒業後の希望勤務地



●業種 前回調査との差異、首都圏若年層と市内大学生の差異

前回と今回の市内大学生で大きく割合が減少した業種は、情報通信業(前回24.7%→今回5.2%)、教育、学習支援業(前回17.4%→今回6.3%)、学術研究、専門・技術サービス業(前回15.3%→今回3.5%)となった。前回から今回にかけて公務は微増しているが、大きく増加した業種は見当たらなかった。首都圏若年層において、農業・林業、生活関連サービス業(娯楽業)、サービス業などを希望する割合は市内大学生に比べて多く、公務を希望する割合は大幅に少ない結果となった。

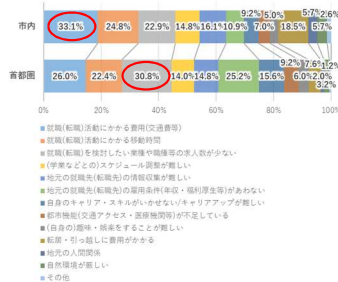
第3期さっぽろ未来創生プラン策定に伴う社会動態に関する意識調査報告書（概要版）

■Uターンにおいて障害だと感じるもの

Uターンにおいて障害だと感じるものについて、市内大学生で最も多かった回答は『就職(転職)活動にかかる費用(交通費等)』となり33.1%、首都圏若年層でも26.0%という結果となった。

首都圏若年層で最も多かった回答は、『就職(転職)を検討したい業種や職種等の求人数が少ない』となり、30.8%という結果となった。

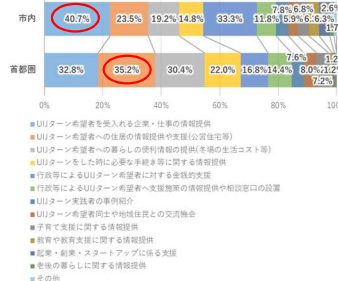
次いで多かった回答は『就職(転職)活動にかかる移動時間』となり、市内大学生では24.8%、首都圏若年層では22.4%という結果となり、企業側のリモート面接などを推進していく必要性は高いと考えられる。



■もっと充実させると考えるもの

もっと充実させると考えるものにおいて、最も多かった回答は、市内大学生では『Uターン希望者を受入れる企業・仕事の情報提供』となり全体の40.7%、首都圏若年層では全体の32.8%という結果となった。

首都圏若年層において最も多かった回答は『Uターン希望者への住居の情報提供や支援(公営住宅等)』となり全体の35.2%、市内大学生では全体の23.5%という結果となった。次いで多かった回答は『Uターン希望者への暮らしの便利情報の提供(冬場の生活コスト等)』となり、首都圏若年層30.4%、市内大学生では19.2%となった。

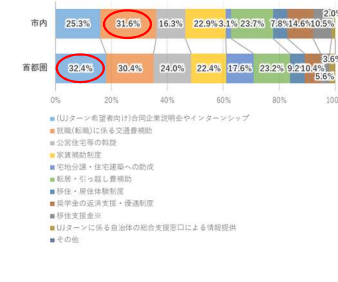


■Uターンするために行政に取組みを強化して欲しいこと【行政支援】

あったら良いと思う取り組みについて、最も多かった回答は、市内大学生では『就職(転職)に係る交通費補助』となり31.6%、首都圏若年層では30.4%という結果となった。

首都圏若年層で最も多かった回答は『Uターン希望者向け合同企業説明会やインターンシップ』となり全体の32.4%、市内大学生は25.3%という結果となった。

その他、補助や助成として声が多かったものは『転居・引っ越し費の補助』市内大学生23.7%、首都圏若年層23.2%となり、『家賃補助制度』市内大学生22.9%、首都圏若年層22.4%という結果となった。

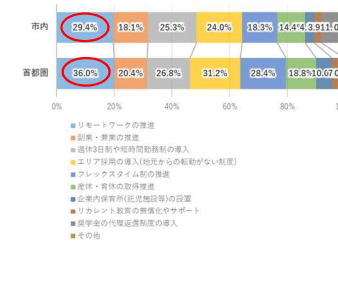


■Uターンするために企業・団体等に取り組んで欲しいこと【民間支援】

企業・団体等に取り組んでほしいことにおいて、最も多かった回答は市内大学生・首都圏若年層共に『リモートワークの推進』となり、市内大学生29.4%、首都圏若年層36.0%という結果となった。

市内大学生で次いで多かった回答は『週休3日制や短時間勤務制の導入』となり全体の25.3%、首都圏若年層では26.8%となった。

首都圏大学生で次いで多かった回答は『エリア採用の導入(地元からの転勤がない制度)』となり全体の31.2%、市内大学生は24.0%という結果となった。



Uターン就職者へのグループインタビュー

●実施概要

参加者を以下の3グループに分け、それぞれに以下の議題でグループ形式のインタビューを実施
実施日：令和6年2月23日(金) 13時30分～16時30分
・グループ：A:新卒によるUターン就職者/B:転職によるUターン就職者/C:既婚者

・議題と回答：(一部抜粋)

1. Uターンの経緯やきっかけ
新卒/親の意向、就活時に東京と札幌を天秤にかけ選択
転職/他地域に住んで良かった、家族のサポート
既婚/配偶者の転勤に合わせて、大学編入

2. 良かった点
新卒/知り合いが多い、夏が涼しい、梅雨がない
転職/生活費の安さ、食べ物おいしい、害虫が少ない
既婚/こどものスキー学習、自然や公園の多さ

3. 大変だと感じたこと
新卒/物理的距離、大手求人サイトでは情報が少ない
転職/北海道非対応の転職エージェントサービスの多さ
既婚/家族対応の住居探し、保育園の調整 など

4. 欲しかった支援・サポート
(官民)交通費や宿泊費などの金銭的サポート
(官)保育園調整のネット対応

■首都圏在住の若年層との比較

・Uターンの理由として調査の上位回答が『出身地であり、生活に慣れている』『自然環境や風土』が挙がったが、リンクするポイントもあれば『家族の事情に合わせて』といった不可抗力的なものもあった

・障害だと感じるものとして調査の上位回答が『就職(転職)を検討したい業種や職種等の求人数が少ない』が挙がったが、それ自体が少ないというより情報にアクセスしづらいという側面があることが伺える

・必要な支援策として調査の上位回答が『希望者向け合同企業説明会やインターンシップ』や『リモートワークの推進』だったが、金銭面的サポートや各種手続きのDX化なども課題としてある様子



調査結果まとめ

今回の結果を受けて、コロナ前とコロナ後の意識の変化や、市内大学生と首都圏在住者の意識の違いを把握し、全体的に必要な部分と各層への必要なアプローチが異なる部分について下記のようにまとめた。

●ポイントの要素

1. (分野にもよるが)より専門性の高い仕事に就きたい場合、道内に留めづらい状況がある
2. 個別にせよ合同にせよ、民間企業は企業説明会を行う必要性は高いことがわかった
3. 学生は、賃金や福利厚生情報のほかに、会社の雰囲気や重視する傾向があり、それを確認する手段としてSNSを用いるケースが多い
4. Uターンの妨げになる要素として、距離があることで就職・転職活動にあたって時間やお金がかかることが上位に挙げられる(リモート化することで解消できる可能性)
5. Uターン支援策として、首都圏在住者は、住まいや生活の情報を求める声が多い
6. 求人情報や転職エージェントサービスで就職(転職)先情報が不足している
7. 転居に伴う様々な手続きの煩雑さ(各種手続き、住居探し、保育園調整 など)

●改善ポイントの整理

Uターン促進のため改善必要性の高いと思われる取組

1. 民間：企業説明会の実施、リモートサービスの導入、公式SNSアカウントの運用
2. 行政：窓口や電話でしか行えない手続きのDX化、民間企業への働きかけ
3. 官民：Uターン就職者の金銭的サポート(移動費、引越費用、家賃補助 など)
4. 情報：求人情報(各民間求人企業・リクルート大手との連携)
助成制度の情報(都内の大学/若年層の子を持つ札幌市民に向けた各種助成制度の情報提供)
暮らしの情報(生活費の比較/交通網やその他インフラの充実/冬の生活について など)
魅力発信(首都圏在住者へ都会と自然を両立する札幌の魅力を発信)